



2019年8月9日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司
 (コード番号：8705)
 問合せ先
 役職・氏名 取 締 役 増 田 潤 治
 電 話 03-5543-8705

2020年3月期第1四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

2020年3月期第1四半期累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)の連結業績につきましては現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第1四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前年同期実績 (2019年3月期第1四半期累計期間)(A)	722	13	23	14
当期実績見込み (2020年3月期第1四半期累計期間)(B)	588	△133	△127	79
増 減 額 (B-A)	△134	△146	△150	65
増 減 率 (%)	△18.5	—	—	463.7
(ご参考) 2019年3月期実績	2,666	15	37	168

2. 差異が生じた理由

当第1四半期連結累計期間における商品市況は、金は6月初旬までは方向感が無くレンジ内での推移となりましたが、6月中旬以降は米国の利下げ期待や中東情勢の緊迫化を背景に大きく上昇しました。原油は4月下旬に高値を付けた後、米中の貿易摩擦により需要が減退するとの観測から下落しましたが、6月初旬に安値を付けた後はOPECが主導する協調減産が継続されるとの観測から値を戻しました。これらの背景から、全国市場売買高は9,590千枚(前年同期比80.4%)となりました。

このような状況のなか、当社グループにおける商品取引関連事業の受取手数料は200百万円(前年同期比44.6%)にとどまりましたが、くりっく関連事業の受取手数料で265百万円(前年同期比746.9%)を計上したこともあり、受取手数料の合計は502百万円(前年同期比99.9%)となりました。また、売買損益につきましては、有価証券関連事業の売買損益が、9百万円の利益(前年同期比6.3%)にとどまったこともあり、合計で57百万円の利益(前年同期比29.9%)となりました。

この結果、営業収益は588百万円(前年同期比81.5%)となる見込みであります。また、営業費用につきましては、722百万円(前年同期比101.9%)となる見込みであります。これらにより、営業損失は133百万円となり、経常損失は127百万円を計上する見込みであります。

これに加えて、2019年7月3日付け「特別利益(投資有価証券売却益)の計上に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、投資有価証券売却益187百万円を特別利益に計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は79百万円を計上する見込みであります。

以 上